学校番号	４１６

令和３年度　芸術科［美術］

教科	芸術	科目	美術Ⅰ(3年)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・デッサン・構成・色彩等の美術における基礎・基本を習得します。
・基礎、基本の作品制作を通して、学ぼうとしていることを明確にし、作品完成時には振り返りを行い、自分ができるようになったことを確認する。
・さまざまな表現方法を学び、絵画・彫刻・工芸等の作品制作に取り組みます。
・自分のよさを発見し、美しさを感じ取る完成を高め、表現する楽しさや作品の完成の喜びを味わいます。

2　学習の到達目標

・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術とは何か	【鑑賞】 オリエンテーション	○			○	a:学習内容に関心を持ち学習の意欲を高めている。 d:美術作品のよさや美しさを感じ取り理解を深めている。	学習活動の様子 ワークシート
	色彩	【デザイン】 色彩の基本 明度・彩度・色相 トーン・色の対比 色彩構成 直線を使った構成 曲線を使った構成	○ ○	○	○ ○	○	a:色彩の基本を理解し、主体的に取り組もうとしている。 b:形や配色などを考えて、表現の構想を練っている。 c:アクリルガッシュの特性を生かし、工夫して表現している。 d:表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 作品
	デッサン	【絵画】 デッサンの基本 立方体・球・円柱 デッサン 身近なものと手を描く	○ ○		○ ○		a:デッサンの基本を理解し、主体的に取り組もうとしている。 c:構図を考え、デッサンに必要な技能を身に付け、表現できている。	制作の様子 作品
2学期	木のカトラリーづくり	【彫刻】 木彫でカトラリーをつくる バターナイフ・スプーン カッティングボード等から 選択して制作	○	○	○	○	a:何を作るかから考え、主体的に取り組もうとしている。 b:美と機能性を両立し、デザインの構想を練っている。 c:糸鋸・のみ・彫刻刀の使い方を習得し、表現方法を工夫している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取りお互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品
2学期 3学期	レザークラフト	【工芸】 キーホルダー コードホルダー キーカバーの3点セット ペンケースをつくる	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:革工芸に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:制作工程や特性を理解し、構想を練っている。 c:３点セットで革工芸の基本的な技法を習得し、ペンケースで表現方法を工夫している。 d:よさや表現の工夫などを感じ取りお互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。